

あいさつ

「やんばるのわクリニック名嘉村」院長の篠原正樹と申します。当院は、2026年10月に開院する訪問診療のクリニックです。これまでやんばる協同クリニックの島津先生や北部地区医師会の先生方が担ってこられた在宅医療に私たちも参加し、北部地区のみなさまに、より充実した医療をお届けできるよう、全力で取り組んでまいります。

「やんばるのわ」の名前の意味

クリニック名の「やんばるのわ」には、「和・輪・環」の3つの意味を含めました。人と人が「和」らかに結びつき、支え合う「輪」が広がり、それが地域に「環」となって巡っていく—そんな想いで名付けました。北部地区のみなさまを支えるチームの一員として、地域に根ざした活動をしていきます。

目指す医療のかたち

北部地区の在宅医療がさらに発展することで、「住み慣れた環境で長く暮らす」「これまで病院で受けていた治療を自宅（施設）で続ける」「人生の最期を自宅（施設）で迎える」といった選択肢が、みなさまに広がればと願っています。

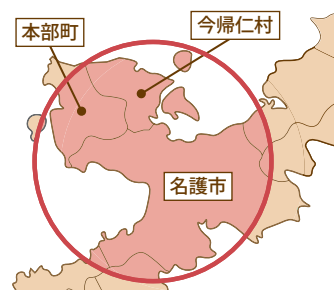
やんばるのわ
クリニック名嘉村
院長 篠原 正樹



訪問エリア

当院より**16km以内**

主な診療地域は名護市となりますが、圏外の場合もお問い合わせください。



ご利用の流れ

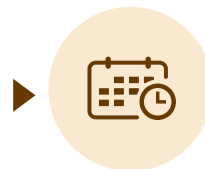
- ① ご相談
- ② 説明・面談
- ③ 初診日決定



まずはお電話ください。ご家族からでもOKです。



職員がご自宅へ訪問し、患者さんの要望を確認します。



訪問回数や診療方針を計画し、初診日を決定します。

※担当のケアマネジャーがいる場合、まずはケアマネジャーに訪問診療を受けたい旨をご相談ください。

お問い合わせ

やんばるのわクリニック名嘉村

〒905-0021 沖縄県名護市東江5丁目5-35 パレス東江207

TEL.0980-43-1650

FAX.0980-43-1651



診療
時間

月～金曜日 8:30～17:30
[休診日] 土、日、祝日、旧盆、12/31～1/3

▲医療法人HSR
ホームページ

緊急時には、休診日・診療時間外も
24時間必要に応じて往診できる体制を整えています。

訪問診療の ご案内

やんばるのわクリニック名嘉村

「住み慣れたおうちで最期まで
という願いを
医療の力で支えます。」



訪問診療の様子は
この動画から➡
見るができます



訪問診療とは

通院が困難な患者さんのご自宅（または施設）へ、医師が定期的に訪問して診療を行います。

夜間・休日を含め365日24時間いつでも連絡がとれる体制をとっていますので、容態が急変した場合でも医師の往診が可能です。



① 定期的な訪問診療

症状に合わせてスケジュールを立て、医師が定期的に診察に伺います。そのほかに、検査やお薬の処方も行います。



② 緊急時の往診

緊急性がある場合に医師が自宅へ伺い、必要な処置や判断を行います。



③ お看取りのサポート

ご本人が住み慣れた場所で最期を迎えたいと希望されたときは穏やかな時間を過ごせるようサポートします。



訪問診療でできること

■ 治療・処置

- ・点滴
- ・注射
- ・内服薬処方
- ・予防接種
- ・栄養管理
- ・褥瘡管理
- ・CPAP管理
- ・在宅酸素管理
- ・自己血糖測定管理
- ・人工呼吸器管理
- ・気管カニューレ交換
- ・胃瘻チューブ交換
- ・膀胱瘻チューブ交換
- ・経鼻経管チューブ交換
- ・尿道留置カテーテル交換

■ 検査・指導

- ・血液検査
- ・尿検査
- ・感染症検査
- ・超音波検査（エコー）
- ・特定保健指導など

訪問診療の対象となる方

通院が困難で、医師の訪問による診察をご希望の方（医療保険、介護保険での対応となります）



歩くのが難しく、
通院が困難な方



医療的ケアが
必要な方



がん、末期、難病、
重度障がい者の方



退院後に在宅療養を
希望する方

実際にあった事例

事例1 病院への通院が 難しくなってきた

足腰が弱り家族の付き添いも難しい中、訪問診療を開始。定期診察や薬の調整、必要に応じた往診を行いました。ご本人や家族の負担を減らし、住み慣れた自宅で療養を続けられました。

事例2 医療的な処置が必要な方でも、 自宅で過ごしたい

酸素療法や栄養チューブ、床ずれの手当てなど、継続的な医療ケアが必要な患者さん。訪問診療や訪問看護、介護サービスが連携し、安心して自宅療養を続けられる体制を整えました。

事例3 がんの終末期をご自宅で 自分らしく過ごしたい

「入院せず自宅で家族と過ごしたい」という希望に応え、訪問診療を中心に看護や介護と連携。痛みや苦痛の緩和、体調管理、家族支援を行いました。ご本人の「どう過ごしたいか」という気持ちを大切に支えます。



事例4 施設で生活しながら、 必要な医療を受けたい

高齢者施設に入居し、定期的な診療が必要な患者さん。施設内で診療を受けられ、施設職員や看護師と情報共有しながら健康管理を行います。住み慣れた施設での生活を医療面からサポートします。

